

(令和8年度)

京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市嵯峨鳥居本町並み保存館の運営について

当館は、伝統的建造物群保存地区の町並みの保全・継承について理解を深めてもらうことを目的として、平成5年に開設した施設です。

施設の主な取組（概要）

伝統的建造物に指定されている明治初期に建てられた京町家を公開展示しています。建物に直接触れていただくことができるほか、昭和初期の愛宕街道の町並みを精密に復元した模型も展示しております。



施設の利用状況（概数）

年間2.2万人の方々にご来館いただいています。

（令和7年度2.2万人、令和6年度2.2万人、令和5年度1.4万人）

施設運営に関する支出・収入（概数） ※令和7年度実績

来館者1人あたりに換算すると、上記の取組などによる年間の支出は215円（総額473万円）です。施設を利用しない方も含めた、市民の皆様からの税金を活用し、運営しています。

＜支出：215円（総額473万円）＞

人件費 89円	修繕費 38円	賃借料 27円	事業費 6円	光熱費 6円	その他 49円
------------	------------	------------	-----------	-----------	------------

＜収入：なし＞

